

露地点滴灌水の効果確認試験

JAひがしかわ

稲場 正俊



5.20撮影 圃場全体



5.20撮影 灌水キット



9.28収量調査(北洋) 試験区



9.28収量調査(北洋) 慣行区



10.2収量調査(ホワイトソード) 試験区



10.2収量調査(ホワイトソード) 慣行区

試験目的	露地点滴灌水の効果確認試験	
試験作物及び品種	長ネギ(北洋、ホワイトソード)	
試験資材及び数量(規格)	全農式点滴灌水キット 1セット	
慣行資材	なし	
栽培方法	定植日 5月16日	収穫日 9月28日～
資材使用期間	5月20日～8月	
試験区面積	6a	

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)**
 設置作業については、特に難しいところはなく問題なかった。
 灌水時の使用も簡易で、不具合等もなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響**
 5月20日の灌水後、試験区の苗の方が活着が良いように見られた。
 6月12日の生育調査までに、計5回灌水を行った。有意差は見られないものの、若干試験区の方が生育促進傾向にあった。
 9月28日・10月2日の収量調査ではあまり差が見られなかった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について**
【優位点】：生育期間中、降水量が不足している場合には、大きな効果を発揮すると思われる。
【問題点】：特になし。

モニター感想

生育前半は圃場が乾燥気味であったため、灌水後は慣行区よりも活着が良く生育が良いように見られた。
 しかし、生育後半は適度な降水があり、慣行区と試験区の差はあまり見られなかった。
 次年度は、営農都合により灌水資材を設置するかは検討中である。

JA担当者の感想(青果課 丸谷 氏)

灌水装置設置後、11回(延べ15時間)の灌水を行った。
 生育期間中、適度な降水があり、灌水効果は生育・収量・品質では確認できなかった。
 ただし、設置直後の灌水により、試験区が活着が良いように感じられた。
 次年度は、改めて灌水には取り組んだうえで、部会の現地研修会などでも周知したい。

今後の使用について

継続して使用したい。